



2011.07.27

み やま
美 山 かやぶきの 里

M. K i k u c h i



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

由良川（美山川）手前が茅葺屋根のかや場である。山沿いの傾斜地に
50戸の集落で茅葺が38棟あり全国第3位、重要伝統的建築物に
平成5年選定された。最古の建築は寛政8年（1796）。



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

手前のトウモロコシ畑と集落中央部分を望む。

入母屋造りで「北山型民家」に分類される。江戸時代に建てられたものが多い。



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

入母屋造りの妻側外観茅葺屋根下に金属板の庇が付けられている。

この住宅には、煙り出しの穴に金属の屋号がついていた。



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

煙出しの穴は各棟とも異なっている。

またここは雁行型に配置されていた。

手前の小さな小屋は放水銃の収納庫である。



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

集落内部の道に沿って住宅が並んでいる。瓦屋根の民家と違い、
棟間隔が空いているのは火災による延焼防止のためか。



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

民族資料館の縁側からの眺め。母屋1階が約30坪で、土間（8帖大）、縁、台所いろり付き（12.5帖大）、部屋（4.5帖大）、納戸（3帖大）、座敷6帖は床、仏壇、押入付き、中の間・下の間（計8帖）、うまや（4.5帖大）そして屋根裏。



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

杉林を背景に傾斜地に集落があり、各棟は同じ方向に
調和して並んでいる。平地部では神社への奉納米を栽培している。
由良川が洪水であふれても集落は守られるのであろう。



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

茅葺の棟、金属で覆われた棟、そして現代の切り妻住宅。

住宅 32 棟のうち 4 棟が金属で覆われている。規模は概ね 30 坪

他に民族資料館、店舗など 6 棟も茅葺屋根



2011.07.27 M. K

美山 かやぶきの里

茅葺屋根の最上部の木材、ゆきわりとうまのりが
リズムをつくり集落が美しい。



美山 かやぶきの里

2011.7

小浜市から、京北町を経て京都市に入る周山街道(鯖街道)の名所、南丹市美山町